

第14回 苫小牧市健康づくり推進協議会 議事録	
日 時	令和5年10月24日（木）18：30～
場 所	市役所5階 第2応接室
出席委員	井上委員、岩上委員、郷路委員、斉藤委員、清水委員、下村委員、平嶋委員、深澤委員、本間委員、三浦委員 (敬称略、五十音順)
事務局	健康子ども部健康支援課
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 苫小牧市健康増進計画 健やか とまこまい step2の最終評価について</li> <li>(2) 第3次苫小牧市健康増進計画の構成・骨子・基本方針について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>3 閉会</li> </ol>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>本日は、司会を務めます健康支援課課長補佐の石澤と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開催に当たりまして、健康子ども部長の桜田よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>&lt;桜田健康子ども部長挨拶&gt;</p>	
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>本日の協議会は、委員14人中10人の出席となっておりますので、苫小牧市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第2項に基づきまして、本日の会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>なお、本日の会議は、20時頃をめどに終了したいと考えておりますので、円滑な議事の進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、ここから司会進行は、苫小牧市健康づくり推進協議会設置要綱第5条第4項に基づき、委員長に進めていただきます。</p> <p>清水委員長、よろしくお願いいたします。</p>
清水委員長	<p>ただいま紹介にあずかりました清水です。本日はよろしくお願いいたします。着席させていただきます。</p> <p>事前に配付されました資料の冊子、皆さん、ご持参していただけたようですので、早速ではございますけれども、次第に従って議事を進めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは、議事1の苫小牧市健康増進計画「健やか とまこまい s t e p 2」の最終評価について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (健康支援課主査)	<p>議事1、苫小牧市健康増進計画「健やか とまこまい s t e p 2」の最終評価について、着座にてご説明させていただきます。</p> <p>資料1をご覧ください。令和5年度に実施した健康づくりに関するアンケート調査の結果及び関係資料等を用いて、38項目について計画策定時の値と直近値を比較し、目標の達成状況の評価をいたしました。</p> <p>全体の目標達成状況につきましては、目標達成が11%、改善傾向が39%、変動なしが22%、悪化傾向が28%、悪化はなしです。</p> <p>各項目ごとでは、1ページの基本方針1、生活習慣病の発症予防・重症化予防のがん対策で定めている指標のがん検診受診率の向上につきましては、苫小牧市で実施しているがん検診を受けた人が根拠となっております。苫小牧市で実施しているがん検診の対象者は、主に国民健康保険に加入されている方や自営業や主婦、高齢者など、職場で検診を受ける機会がない方です。職域で受けた方は含まれておりません。そのため、職域も含めた設定である目標値と乖離して見えます。</p> <p>それでは、受診率についてなんですけれども、胃、肺、大腸がん検診は令和元年度以降、タダとく健診や健幸大作戦での普及啓発が影響し、受診率向上につながったと考えます。子宮頸がん、乳がん検診は、令和3年度以降、</p>

女性のがん検診に力を入れた個別での受診勧奨をしたことが受診率向上につながったと考えます。

次に、がん検診要精密検査受診率の増加につきましては、精密検査未受診者に夜間の電話がけを行い、令和4年度には大腸がん検診の精密検査以外は80%以上の受診率になりました。がん対策の最終評価はCとなっております。

次に、3ページの糖尿病等の重症化予防につきましては、国民健康保険に加入している方が受けた人数が根拠となっております。

定めている指標の特定健康診査受診率の向上につきましては、コロナ禍の影響を受けましたが、直近の令和4年度は改善傾向が見られます。

特定保健指導実施率の増加につきましては、平成30年度に保健センターで行った健診結果説明会や直営での訪問による保健指導の効果が見られ、増加につながったと考えます。

次の糖尿病性腎症重症化予防対象者の受診勧奨介入率につきましては、中断者も含め、全員に受診勧奨を行い目標を達成いたしました。次の糖尿病性腎症重症化予防対象者の保健指導実施率につきましては、医療機関からの対象者の紹介がなかったため、評価困難といたしました。糖尿病等の重症化予防の最終評価はBとなっております。

次に、5ページの基本方針2、こころの健康づくりについての自殺総合対策で定めている指標の自殺死亡率の減少につきましては、平成28年度と比較し4.77ポイント減少し、目標を達成しました。

次に、働く世代でのストレスをよく感じている人の割合の減少につきましては、平成29年度と比較し男女ともに変動はありません。

次に、メンタルヘルスの相談先を知っている人の割合の向上につきましては、平成29年度と比較し20.1ポイント増加しています。自殺総合対策の最終評価はBとなっております。

次に、7ページの基本方針3、生活習慣病の改善の栄養・食生活で定めている指標の成人の肥満の減少と肥満傾向児出現率の減少につきましては、こちらのほうはともに増加しております。北海道は全国と比較して肥満が多く、苫小牧市は全道平均と比較しても肥満が多いという現状があります。

次に、朝食を毎日食べている人の割合につきましては、第2次苫小牧市食育推進計画を策定した令和3年度のアンケート調査の結果が根拠となっており、現時点での評価が行えないため評価困難としております。次の計画では、経年的に評価できる指標に変更する予定です。栄養・食生活の最終評価はDとしております。

次に、9ページの身体活動・運動で定めている指標の運動習慣のある人の割合の増加につきましては、平成29年度と比較すると、男女ともに増加しております。オンラインでの運動教室の実施や個人ごとでコースを設定するウォーキング事業の開催など、コロナ禍でも感染症対策に配慮した取組が運動習慣づくりの一助となったと考えます。身体活動・運動の最終評価はCとなっております。

	<p>次に、11ページの喫煙・飲酒で定めている指標の成人の喫煙率の減少につきましては、平成29年度と比較して男女ともに減少し、男性は僅かに目標に届きませんでした。禁煙のきっかけは、健康への影響に加え、妊娠、出産によるライフスタイルの変化や喫煙できる場所がなくなったという環境の変化も上げられており、受動喫煙防止対策の推進や禁煙外来の周知・利用促進、学校授業や母子保健事業での普及啓発の効果と考えます。</p> <p>次に、COPD認知度の向上につきましては、変動はありません。</p> <p>次に、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少につきましては、平成29年度と比較して男女ともに減少しております。喫煙・飲酒の最終評価はBとなっています。</p> <p>次に、13ページの歯と口腔の健康で定めています指標の3歳児の齲蝕有病率の減少と12歳児の永久歯1人平均齲蝕数の減少につきましては、平成28年度と比較しともに減少しています。</p> <p>次に、8020運動を知っている人の割合の向上につきましては、変動はないです。</p> <p>次に、年に1から2回定期検診を受けている人の割合の増加については、平成29年度と比較し7.5ポイント増加しております。歯と口腔の健康の最終評価はBとしております。</p> <p>私からの説明は以上となります。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいま説明のありました議事1につきまして、委員の皆様からご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。</p>
下村委員	<p>1ページのがん検診の項目についてなんですけども、乳がん検診につきましては、ほかの全国の平均なんか比べると、非常に苦小牧、低いんじゃないかと思うんですけども、この辺の傾向につきましては何か調査とか、そういうのはされているんでしょうか。</p>
清水委員長	<p>事務局、いかがでしょうか。</p>
事務局 (健康支援課主幹)	<p>そうですね、毎年変わらない率なんですけど、ほかのがん検診と比べますと、その原因というのははっきりとした定かなものは特定できてはいないです。</p>
清水委員長	<p>よろしいでしょうか。</p>
下村委員	<p>ほかの地域ですと、目標値に掲げられているこの数値、例えば胃がん、肺がん、大腸がんが20で、子宮頸がん、乳がんが25、若干高めですけども、一般的にほかの全国の平均なんかも見ても、多分この二つについてはほかの項目よりも高い結果が出てるはずなんですけども、苦小牧市においては、ちょっとここが非常に低いという傾向にあるのかなと思いますので、ちょっとこの数値が気になりました。すみません、ありがとうございました。</p>

清水委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにご意見等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>今のご説明いただきました、苫小牧市としても健康増進に関して様々な取組をされていると。今回その結果、ある一定期間の結果をお示しいただいたんですけれども、ちょっと私からで申し訳ないんですが、歯と口腔の健康のところでは3歳児の齲蝕有病者率、12歳児の永久歯1人平均齲蝕歯数の減少というのが非常にいい結果のような気がいたしますけれども、何か特別な取組とございますか、そういうのをされたんでしょうか。もしよろしければご紹介いただければ助かります</p>
事務局 (健康支援課主幹)	<p>直接的な関係は証明されたわけではないんですけれども、保育園とか幼稚園のフッ化物洗口というのを実施してまして、その効果があったのでは。学校のほうでもフッ化物洗口というのを全部やっているので、その効果ではないかというふうに考えております。</p>
清水委員長	<p>児童に関して歯というのはやっぱり大切なので、こういった取組で実際に成果が出たというのは非常に素晴らしいことだと思っています。</p> <p>ほかには何かご意見はありますか。</p>
斉藤委員	<p>がん検診のところの受診率なんですけど、最初のところで説明いただいたのは、国保で徹底されたという説明を受けたんですけれども、なかなかそうだと、それに該当しないというか、個人で受けている方たちがいらっしゃると思うんですけど、それを拾うすべというのは特にはない、あくまでも国保のところだけ焦点を当てて、受診率を向上させるというふうな設定の仕方でしょうか。</p>
事務局 (健康支援課主幹)	<p>一応職域のほうでは、職域でがん検診を助成しながら実施していたりとかもしているんですけども、それはあくまでも義務づけではなく、その職域でやってまして、市としては、そういう検診を受けられない方とか、国保の方を対象とした検診しているんですね。それで、受けられない方の周知として、協会けんぽさんにも、受けられない方は市の検診を受けてくださいというパンフレットを送っていただいて、周知を図っているというようところが現状です。</p>
事務局 (健康子ども部次長)	<p>ちょっと補足しますと、今、斉藤委員が言われたように、実数の把握というのが、今全国一律の基準ですとちょっと難しい状態なんですね。</p> <p>ただ、苫小牧市のほうで今独自の推計値みたいなものが出せないかというのは今後の検討課題かなというふうに思っていて、市が対策型がん検診として、市が助成をしてやるものと、あと、市は指定管理として保健センターでがん検診を受診していただいている方の数字というのは保健センターがまとめてくださっている事業年報というのがあるので、その数字を拾うことだとかもできますし、今、協会けんぽさんとの連携協定というのを結んでいる中で、協会けんぽさんでがん検診を受診している方の把握というのもされているので、そういった数字をちょっと組み合わせることで独自の受診率の推計というのはいかならないかというのはいちよつと中で検討していますので、そういった数字を、他市との比較となると、もうできないですけども、市</p>

	<p>が押さえられる数字としては、今後出してみたいなと思っていますので、よろしくをお願いします。</p>
齊藤委員	<p>そうすると、この数字ではないけど、全体としてもうちょっと出ているというものができるのかなと。</p>
事務局 (健康こども部次長)	<p>そうですね、今ちょっとある数字で見ている限りでは、例えば肺がん検診だともう50%は超えているんじゃないかというような推計値にもなっているので、ちょっとそこの精度を今高めていきたいなと思っていますので。</p>
清水委員長	<p>齊藤委員、よろしいでしょうか。</p> <p>多分これ、算出方法の問題なんですね。自治体同士で比較しなきゃいけないから、こういう計算方法で数値が出ていると。ただし、今吉田さんからお話があったように、実際に苫小牧市のリアルワールドではどうなるのかというのを今いろいろ考えて、実数を出してもらおうような努力をされているということよろしいですか。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。ないようでしたら、議事2の第3次苫小牧市健康増進計画の構成・骨子、そして基本方針について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (健康支援課主幹)	<p>それでは、私のほうから、議事2の健康増進計画の構成・骨子・基本方針について説明したいと思います。</p> <p>資料2の第3次増進計画の構成をご覧ください。前計画のstep2からの変更や追加の項目は太字になっております。</p> <p>第1章の計画策定の趣旨の3の計画期間は、国の健康日本21の中間見直しの時期とし、令和6年度から令和11年度の6年間の計画となります。</p> <p>第2章は、現状と前計画の評価となっており、課題と今後の方向性をまとめる予定でおります。</p> <p>第3章、施策の基本的な考え方は、計画の骨子になる部分ですが、基本方針としては、第4章の健康づくりの取組の四つの柱で示していきたいと考えております。</p> <p>次に、骨子の体系になります資料3をご覧ください。基本理念、基本目標は、前計画のstep2と変わらず継続していきたいと考えています。</p> <p>四つの柱としている基本方針についてですが、一つ目は、生活習慣病の予防を中心とした健康づくりとしており、個人の生活習慣の改善と生活習慣病の発症や重症化の予防の対策となります。</p> <p>二つ目が健康を支える環境づくりの項目を上げています。この部分については、アンケートの結果から、市民が健康づくりに取り組めていない理由に時間がないことや取り組むための動機・きっかけが大きな要素となっていたために、自然に健康になれる健康を支える環境づくりが必要と考え、新設しております。国の健康日本21においても、社会環境の質の向上として挙げられております。</p> <p>三つ目はこころの健康づくりになりますが、心の健康の維持・向上は健康づくりに取り組む上で重要であり、この部分は、本市の自殺対策推進計画として位置づけていることから、目指すべき姿を入れております。</p>

四つ目はライフコースに合わせた健康づくりとし、1から3の基本方針の取組について、ライフコースの視点を取り入れて進めていきたいと考えております。ライフコースは、国の健康日本21の基本方針に示されており、個人が一生の間にたどる就業や結婚などの道筋のことで、健康状態はこれまでの生活習慣などに影響されることを踏まえて、子供や女性などに着目をした取組を進めていきたいと考えております。

以上のような四つを基本方針として上げています。

続きまして、資料4をご覧ください。第3次増進計画の指標になりますが、全部で27項目あります。前計画の項目の内容を変更したもの5項目と新規が7項目を中心に、簡単に説明します。

変更した項目の一つ目は、1ページの適正体重を維持している者の増加です。前計画では、成人の肥満の減少でしたが、国の目標と合わせ、肥満や女性の痩せなどを含めて、適正体重を指標としています。

二つ目は、同じく1ページの下の朝食を欠食する人の割合ですが、前計画の朝食を毎日食べているから、国の第4次食育推進基本計画の表現に合わせて、欠食を指標にしています。

三つ目は、3ページの喫煙者におけるCOPD認知度です。前計画では、市民全体の認知度でしたが、喫煙者の方により知っていただきたいということで、喫煙者による認知度に絞っています。

次に、4ページをご覧ください。がん検診の受診率の目標ですが、先ほど成果の部分や質問のところでご説明したとおり、前計画では国の目標値の半分としていましたが、受診の対象者の違い等々もあり目標と乖離していましたので、市が実施しているがん検診において達成が可能な数値目標に変更しております。

同じく、すみません、5ページの特定健康診査の指標につきましても、暫定値となっており、今年度策定予定となっております国民健康保険のデータヘルス計画と整合性が取れるよう協議予定となっております。

変更項目の4つ目は、同じく5ページの高血圧・糖尿病重症化予防の受診勧奨及び保健指導の項目ですが、高血圧だけではなく、糖尿病の重症化予防としても開始していますので、その部分を加えております。

最後の変更項目は、糖尿病通院患者の保健指導の項目で、医師から保健指導の紹介があった方に限定した実施人数に変更しています。

次に、新規項目の1つ目には、6ページの2番目に就学前フッ化物洗口の実施園の増加を追加しております。

次に、7ページから8ページは、先ほど新設した基本方針の2、健康を支える環境づくりのため、全て新規項目となっております。保健センターやスポーツ施設、すこやかロードなどの資源の活用や市民が健康情報を入手しやすい環境にすることにより、健康づくりに取り組む者の割合の増加や健康行動を身につけるきっかけづくりとして、スポーツフェスティバルの来場者数の増加を指標としています。また、受動喫煙防止のため、空気もおいしい施設の認定数の増加も上げております。

	<p>8ページをご覧ください。健康増進を進めるためには、様々な団体や機関が主体的に健康づくりに取り組むことが重要と考え、健康経営優良法人の認定数を増やすことと、関係団体、機関との連携をして実施する事業数を増やすを指標にし、進めていきたいと考えています。</p> <p>最後の新規項目は、7ページの一番下の若年層向け「いのちの授業」の実施学校数を追加しております。</p> <p>以上のような基本方針、指標を定めて、計画を策定していきたいと考えております。</p> <p>私からは以上です。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>基本的には現状を踏まえ、各種項目に関して目標を設定し、それに向けて事業をするという方針だと思いますけれども、議事2につきまして、ご質問、ご意見はございますでしょうか。</p>
下村委員	<p>今ご説明がありました9ページのいのちの授業というのは、これは、がん教育が含まれるというふうに理解してよろしいですか。</p>
事務局 (健康支援課主幹)	<p>いえ、このいのちの授業は、生きる性と性という性教育の部分の教育なので、がん教育のほうはそこには含まれていません。</p>
下村委員	<p>それじゃあ、ちょっと質問させていただきたいんですけども、前回のstep 2はがん教育という目標がございましたけれども、今回はその項目はどこに含まれておりますでしょうか。</p>
事務局 (健康支援課主幹)	<p>step 2にある小・中学校におけるがんの教育の実施という取組事業の中に含まれていますので、ここについては、取組事業の中で含まれていくというふうになります。</p>
事務局 (健康子ども部長)	<p>付け加えさせていただきますと、本日お示しさせていただきましたのは、取組の方針と指標ということでお示しをさせていただいてまして、それぞれの取組の方針の取組の内容に、今後、取組事業ということで、細かな事業を市で実施しているものや、各種連携させていただいている団体さんと共通している事業など、そういうものを付け加えていきたいというふうに考えております。</p> <p>この小・中学校におけるがん教育の実施というのも現在も教育委員会の指導室のほうで行われているものでございますので、このがん対策の中で取組の事業として、ここは継続していくというようなことで考えさせていただきたいと思っております。</p> <p>説明が足らずに申し訳ないんですけども、本日、本当に骨子の部分と取組の指標、こういう目標でというところを示させていただいていますが、今後、計画をつくっていく中でいろいろ肉づけをさせていただきまして、どのような事業をこのためにしていくのかというところにつきましては、もう少し、もっといろいろご意見をいただきながら加えていきたいというふうに考えています。</p>



清水委員長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それに関連して、同じようなこと思っていました。今回は骨子とか、そういうものとかですが、具体的にどうするのかなというのがやっぱり問題ありまして、今、桜田部長のほうから、これから実際に具体なところを練っていくということで、それをちょっと待ちたいと考えています。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。ございませんでしょうか。</p>
井上委員	<p>ちょっときつい意見かと思うんですけども、7ページですね、最終的な評価Dのところなんですけども、この中で、何ですか、小・中学生の肥満が増加しているということが書かれていますけども、これにつきまして一層の働きが必要であると考えられますといっても、どのように、具体的に何か働きかけるといいますか、アピールするものがありましたらお願いしたいと思えますけど。</p>
事務局 (健康支援課主査)	<p>学校教育のほうとかで栄養だよりというものを出してございまして、肥満度の毎年行っている調査した結果を出したりとか、主に普及啓発のほうをしております、それプラス、やはりバランス取れた食事とか、そういったことを次の計画のほうには含めていけたらというところで考えておりますけども、具体的なところはこれから詰めていくことになると思います。</p>
事務局 (健康支援課長)	<p>今の部分でちょっと追加なんですけれども、実は来年、スポーツフェスティバルのところで、ちょっと健康支援課のほうで健考・健幸DAYというイベントを毎年、健康に関するイベントをさせていただいているんですけども、来年度からはこのスポーツフェスティバルのほうにちょっとコラボした形で健考・健幸DAYやる予定でいるんですが、来年のテーマとしては、子供の肥満にちょっと焦点を当てて、そういったイベントも取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思えます。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございます。ほかにはいかがですか。</p>
本間委員	<p>健康を支える健康づくり、環境づくりということなんですけども、今スポーツフェスティバルの話が出ましたけども、先般、10月15日に総合体育館のほうでスポーツ協会と市で開催したんですけども、今、来場者数の増加を指標の中に入ってますけども、今回、今取りまとめているところなんですけども、2,500名ぐらいが参加していただいていたということになるんですけども、いろんな競技を設定して、乳幼児からはいはい競争ですとか、いろんなもの、市民が楽しめる、ニーズを支えるという形で進めたんですけども、この指標の中の1,500人というのは、去年も、親御さんが来てくれたとか、来場者数であって、その競技に参加したという人数は今回も300名ぐらいなんです。いろんな種目をつくったんですが、パン食い競争ですとか、綱引きですとか、あと、玉入れですか、非常に好評だったんですけども、それを、種目のある程度増やして、限られた場所でやるものですから、来年も実施しようとは思っているんですけども、この来場者数そのものが競技に参加する人も含めてなのか、というところで切り分けをしたほうがいいのかどうか。興味を持っていたら2,000名以上の方が来て来</p>

	<p>場されたということなんですけども、スポーツをする意味では、参加してくれる人を増やすような目標を立てるべきなのか、それは市のほうといろいろ協議しながら、次年度の開催に向けて進めていきたいと思っています。</p> <p>以上、報告も含めて。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>スポーツ協会の本間委員から貴重な提言がございましたので、市のほうとしても、スポーツ協会と十分に検討していただいて、実のあるような数字のあれですね、してもらえればいいなと思います。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p>
平嶋委員	<p>肥満傾向児出現率の減少という項目で、最近の小学生とかというのは、それを見ると高いんですけど、学校薬剤師として年3回ちょっと学校に訪問しているのですが、その中でやっぱりお昼は給食を取れているんですけど、朝食べられていないとか、夜、親が遅いとか、そういうふうになるとやっぱり食生活って不規則になると思うので、その中で、小学生、中学生にそれを伝えても、特に小学生はどうしようもないから、もしかしたらカップラーメンとか食べているのかもしれないし、もうちょっと広く何かできないのかなというのが印象として思ったんですけど、その辺はどのような形で今後イメージしているのかなというのがちょっと聞いてみたいと思います。</p>
清水委員長	<p>いかがでしょうか、学童の肥満を防ぐ意味で、朝食の摂取というものの重要性を今指摘していただきましたけれども、事務局としては、これまでの対応といいますか、やってきたかどうかというのをちょっと紹介していただければと思います。</p>
事務局 (健康支援課主幹)	<p>小学生だけとかというふうな形ではないんですけども、市のほうからもいろんな、SNS を使ったとまチョップ中でそういう食育に対しての発信とかはして、広く使われるようにしていくというのとか、あと、今回、健考・健幸DAYでもちょっと肥満を対象とした、それぞれの、高齢者を中心としたり、今年度は働く世代の方を中心とした肥満の対策みたいな形で、ちょっとそういう、私たちのほうでも少し肥満が多いというようなところを課題と考えて、ちょっと取組を今実施しているところなんではあるんです。</p> <p>基本的には、市のほうにも栄養士がいて、ちょっと学校給食だとかと会合、会合というか、打合せをしながら、どういうふうな形で、やはり朝食を食べないということも以前に食育計画をつくったときに課題となっていたので、そこも併せて、何とかその部分を皆さんにも知っていただいて、ちょっと取り組んでもらおうというような形で発信をしているところではあります。</p>
清水委員長	<p>事務局からの報告に関して何かご意見はございますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>学童期の子供たちの肥満に関しては、本人の一つは問題ですね。それに関しては、スポーツ等々を利用してエネルギーを消費して、肥満傾向を抑制するというのもありますが、もう一方の問題として、家庭環境の問題があると思うんですね。もちろん先ほど食育のことお話しされましたから、やっておられると思うんですが、お母さん教育ですね、それも重要なポイントだと思</p>

	<p>うんですね。これまでやってこられたことが成果を結んで、このぐらいなのかもしれないし、さらなるそういった教育、お母さんに対する教育が必要なのかもしれないし、それも含めて、この6年間ですか、に関して、6年間ちょっと努力していかなきゃいけないのかなということが印象です。ほかには。</p>
齊藤委員	<p>今の続きなんですけれども、食に興味のある方はいろんなイベントをしても来てくださるんですけれども、実はそこがポイントではなくて、そういうところに参加されない方たちの、さっきお母さんとおっしゃったのですが、ご両親とか、親はお母さんだけではないので、家庭環境があるので、一般的な方が来られるようなところでも朝食の必要性だったり、こういうものだと簡単に取れますよというようなもっと具体的なものを、スーパーでできるかどうか分からないんですけど、そういうところにもっと手軽に目につくようなものを何かプランをしていただくと、広く市民の方たちに伝わるのではないかなというふうに考えています。</p> <p>あと、栄養教諭が学校にはいらっしゃるの、市と一緒に、そういうところでもいろいろ啓発活動をさらにしていただけるといいかなと思います。</p>
清水委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>齊藤委員からのお話、提言がございましたので、その辺も踏まえてまた考えていただければよろしいかなと思います。ほかいかがでしょうか。</p>
下村委員	<p>全般的に私、企業さんとの連携みたいな、非常にいろんなところで重要になってくるのではないかなと思うんです。今の食育なんか、企業さんの中である程度何か情報配信ができるのか、手段があればだいぶ違ってくるのかなと。ただ、それを企業さんにやっていただくという手法としては、8ページに記載されています健康経営優良法人認定というところを推進していくと、かなり企業さんも真剣になって取り組んでいくという、フレームになっていると思うんですね。現在33社、目標値を50社にしてある、増やしていくわけなんですけれども、この辺の具体的な手だてといたしますか、どうしたら50社に増えていくかということに関しては何かアイデアみたいなのはございますか。</p>
事務局 (健康支援課長)	<p>そうですね、一緒に、例えばこういった健康経営に関するセミナーを実施していくということも実はもう既に行っていたりするんですけれども、そういった取組の中で、少しずつですね、数はちょっと控え目だとちょっと捉えられてしまうような数字かもしれませんが、少しずつでも着実に増やしていきたいという考えでこのような指標にしております。</p>

下村委員	<p>私、一度、道の主催するこのテーマについてのセミナーに参加したことがあるんですけども、北海道の場合には、例えば建設業者さんについては、健康優良経営法人の認定を受けると、道が発注する工事の基礎点の加点をするというようなことをやる。そうすると、ちょっと言葉としては語弊がございますけども、皆さん、工事の受注が欲しいわけでございますので、苫小牧市さんがやっているような社会ボランティアの加点と同じような形で、それを行うことによって、非常に工事の受注に近づくというような仕組みを取られているということがございました。その辺もちょっと参考にしていただいて、具体的に何をどういうふうにしたら企業さんが本気になってくれるかという部分については、お願いするだけじゃなくて、いろんなアイデアを皆さんのほうからも出していただいて、できることで対策を取っていったほうがよろしいんじゃないかと思います。</p>
事務局 (健康支援課長)	<p>今、下村委員がおっしゃっていただいたんですけども、今年から苫小牧のほうもそういった加点は実はちょっとさせていただいております、なかなかまだ周知がされていないというところではありますけれども。</p>
事務局 (健康子ども部次長)	<p>ちょっと補足させていただきますと、やはり毎年毎年この健康優良法人については申請して、認定するというのを、去年、一回受けるとずっとというわけではないので、やっぱり毎年やってくという難しさがあるかなと思っています。</p> <p>その中で、審査項目等々も変わっていつていきますので、継続的にセミナーをやりながら、認定を受けるためにはどのようにしたらいいのかという普及啓発も図りながら、さっき出雲のほうから話あったように、動機づけという部分でもそういったインセンティブを設けながらやっていきたいと思っていますので、ここはちょっと50社という、まずは国の数字を目指して普及啓発していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
清水委員長	<p>下村委員、よろしいでしょうか。</p> <p>ご意見をありがとうございました。</p> <p>それでは、ほかに、せっかくの場ですので、何かございましたら、ないようでしたら、議事3に移りたいと思います。</p> <p>議事3のその他について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (健康支援課長)	<p>それでは、次回の協議会についてなんですけれども、次回の協議会につきましては、12月中旬の開催を予定しております。先ほどちょっとご説明させていただきましたけれども、次回は、取り組む事業だとか、そういったところを肉づけをした形でお示しをたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。</p>

<p>清水委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、この件、あるいは会全般を通してでも構いませんけども、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。ございませんでしょうか。</p> <p>なければ、これで会議終了したいと思います。</p> <p>活発なご意見、あるいはご提言、どうもありがとうございました。次回、12月にもまた会議が開かれますので、そのときもまたこのような形で活発な意見をいただければ良いなと考えております。ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (健康支援課長補佐)</p>	<p>清水委員長、ありがとうございました。</p> <p>本日の議事につきまして、ほかにご意見、ご質問がございましたら、お配りしておりますご意見・質問書に記載いただき、10月31日火曜日までにご提出いただきますようお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第14回苫小牧市健康づくり推進協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。</p>